

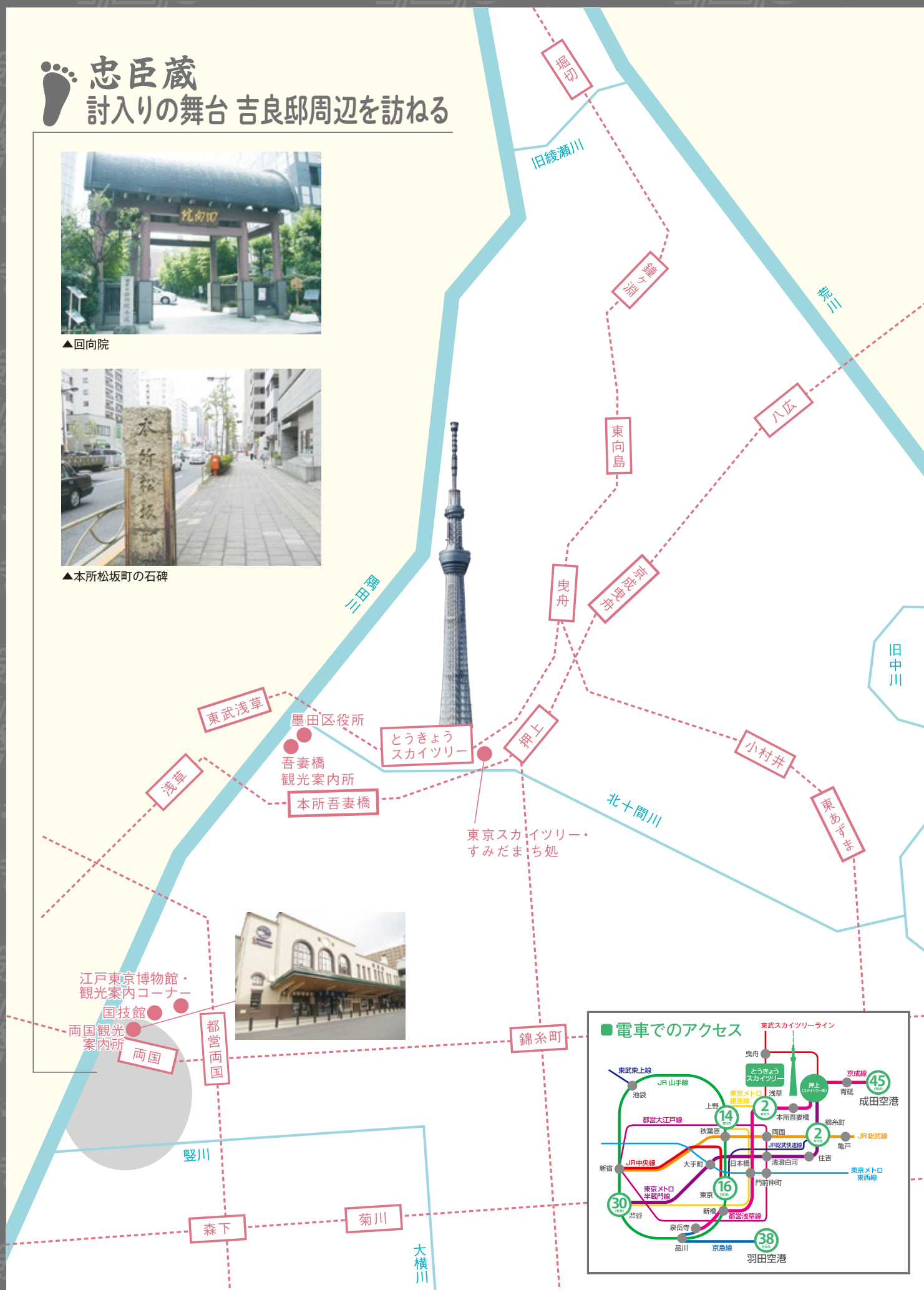
忠臣蔵
討入りの舞台 吉良邸周辺を訪ねる



▲回向院



▲本所松坂町の石碑



すみだ
まち歩き
博覧会
SUMIDA MACHIARUKI FES

忠臣蔵

討入りの舞台 吉良邸周辺を訪ねる



両国
RYOGOKU

大高源五の句碑



吉良邸討入り



おすすめスポット

両国観光案内所
回向院
大高源五の句碑
旧両国橋・広小路跡
一之橋
前原伊助宅跡
吉良邸正門跡
本所松坂町公園・吉良邸跡
本所松坂町の石碑

本所松坂町公園・吉良邸跡



忠臣蔵

討入りの舞台 吉良邸周辺を訪ねる 両国

吉良邸跡をはじめ、両国には忠臣蔵の舞台となったスポットがたくさんあります。忠臣蔵ゆかりの地を辿りながら、歴史に触れてみてはいかがでしょうか？



1 両国観光案内所

両国エリアを中心に観光案内やパンフレットを配布。英語でのご案内もしています。両国観光案内所発の「まち歩きガイドツアー」も開催（夏季・冬季除く）。すみだのお土産も取りそろえています。【定休日】1月1日・2日、施設点検日 【営業時間】観光案内10:00～18:00（大相撲東京場所開催中は19:00まで）販売11:00～19:30 【電話番号】03-5637-7551



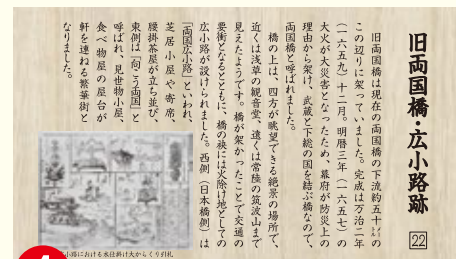
2 回向院

明暦3（1657）年の「明暦の大火」の鎮魂のために建立された本所両国のシンボルの寺院。討入り後の義士はここで休息をとろうとしましたが、開門時刻の前だったため入れず、両国橋まで歩きました。



3 大高源五の句碑

吉良邸への討入り当日、赤穂義士の1人、大高源五の知人が近所で年忘れ句会を開いていました。その中の1人、宝井其角が句を詠むと、目的を遂げた源五がその場で返句したといわれています。



4 旧両国橋・広小路跡

討入り後、赤穂義士が休息をした場所。創作では、広小路で休息をとった義士は両国橋を渡ったことになっていますが、実際は登城日の大名や旗本の行列を避け、一之橋、永代橋を経由して泉岳寺を目指しました。

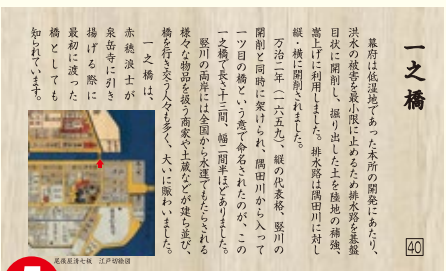


まち歩きには墨田区内循環バス「1日乗車券（300円）」も便利！バス車内で購入できるほか、産業観光プラザ すみだ まち処、吾妻橋観光案内所、両国観光案内所等でも販売しています。

ちょっと寄り道

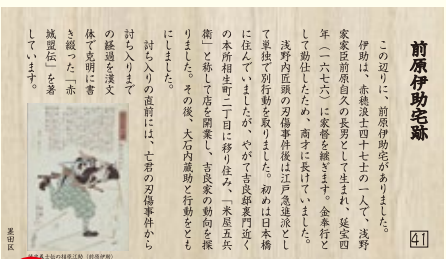
映水庵

カウンター9席、豎川沿いにある小さなカフェ。川面を眺めながら、淹れたてのコーヒーを楽しめます。自家製のチーズケーキは持ち帰りできるので、お土産にもオススメです。【定休日】日曜・祝日【営業時間】月～金9:00～18:00、土10:00～18:00【電話番号】03-3634-9525



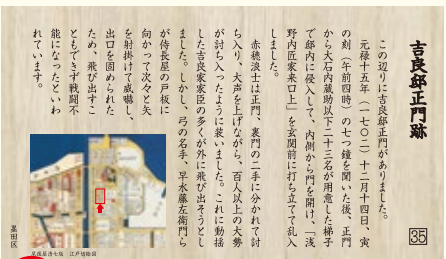
5 一之橋

万治2（1659）年、豎川の開削と同時に架けられました。赤穂義士が泉岳寺に引き揚げる際に、最初に渡った橋として知られています。隅田川に一番近いので「一之橋」の名が付けました。



6 前原伊助宅跡

赤穂四十七士の1人、前原伊助の潜伏先。「米屋五兵衛」と称して、店を営業していました。吉良家の裏門とは眼と鼻の先。討入り当日には、義士たちの集会所になりました。



7 吉良邸正門跡

吉良邸正門があった場所。元禄15（1702）年12月14日、大石内蔵助以下23名が正門から邸内に侵入しました。大声をあげながら100人以上の大勢で攻め入ったかのように装ったといわれています。



8 本所松坂町公園・吉良邸跡

まさにここが討入りの舞台となった地。正面右には「赤穂浪士遺蹟 吉良邸跡」の石碑。園内には、愛知県西尾市の華蔵寺にある上野介座像を再現したものがあります。



9 本所松坂町の石碑

昭和7（1932）年に作られた石碑。昭和4（1929）年に行われた区画整理で無くなってしまった、「松坂町」の名が消えてしまうのを惜しまれて建てられました。